

第7回

パルクとよた公開セミナー

不登校対応について

講師 長坂 正文 氏 【東京福祉大学 心理学部 教授】

<講師プロフィール>

長坂 正文 (ながさか まさふみ)

1957年愛知県生まれ。愛知教育大学大学院（発達臨床心理学専攻）修了。臨床心理士。愛知県公立高校教諭、愛知教育大学講師、愛知教育大学教育実践総合センター研究協力員、楣山女学園大学講師を経て、2008年より東京福祉大学教授。専門は、臨床心理学、教育臨床学、カウンセリング、箱庭療法。日本箱庭療法学会理事、元日本学校教育相談学会全国理事、元愛知県臨床心理士会常任理事、日本学校教育相談学会愛知支部理事、愛知県精神保健福祉協会常任理事、名古屋いのちの電話スーパーバイザー、愛知県総合教育センター講師、安城市教育センター企画運営委員、安城市適応指導教室スーパーバイザー、安城市いじめ問題対策委員ほか多数。

著書は『学校カウンセリングの基本技法』、『心理臨床大事典』など。論文は「不登校への訪問面接の構造に関する検討」、「破壊的衝動とその統制が課題となった高機能自閉症男児の箱庭療法」ほか多数。

【講演概要】

不登校は、いじめと発達障害とならび学校臨床の三大問題と言えますが、その始まりは古く、Broadwin(1932)により truancy (怠け) として、あるいは Johnson(1941)により school phobia (学校恐怖症) として報告されたのが始まりとされています。その後の歴史をたどりながら、現在の実態（令和3年度は全国の小中学校で244,940人と、この30年で約3.6倍、多様な形態の不登校）、分類や原因（コロナの影響はあるのでしょうか？）について取り上げ、最後に不登校への対応として、本人、親、先生、行政、専門家（医師・心理士）それぞれの立場からできることを考えたいと思います。

参加費無料

申込方法 予約制

参加御希望の方は、電話または、パルクとよたホームページから申込票をダウンロードし、申込票に必要事項を御記入の上、FAXにて事前に申し込んでください。

なお、定員に達した場合は、参加をお断りする場合もあります。体育室で行う予定ですので、スリッパやバインダーを御持参ください。

参加する前に必ず検温を行い、熱が高い等体調がすぐれない場合は、参加を控えてください。

マスクの着用を含む咳工チケットに協力してください。

電話：32-6595 FAX：32-7911

申込受付期間 令和5年1月25日(水)～5年2月23日(木)

とき 令和5年2月24日(金)

18:30～20:00

《受付 18:15～》

ところ 豊田市青少年相談センター
(パルクとよた)

豊田市栄町1-7-1※駐車場有
定員 80名程度

＜問い合わせ先＞

豊田市青少年相談センター (パルクとよた)

公開セミナー担当 電話 32-6595

(受付時間 9:00～17:00 日祝日を除く)

パルクとよた 会場・駐車場案内図

N

豊田市栄町1丁目7番地1

パルクとよた（豊田市青少年相談センター）

